

子どもの不慮の事故

～子どもの命の大敵、
ちょっとした気配りが事故を防ぎます～

子どもの不慮の事故は「子どもの命」の大敵

ふわふわの布団やよだれかけのひもによる窒息、タバコなどの誤飲、風呂での溺水など思いがけない事故・意外な事故を不慮の事故とよびます。不慮の事故は子どもの死因の上位にあり（0歳第4位、1～4歳第2位、5～9歳

子ども死因順位

| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------|
| 0歳 | 先天奇形、変形及び染色体異常 815人(35.5%) | 周産期に特異的な呼吸障害等 314人(13.7%) | 乳幼児突然死症候群 144人(6.3%) | 不慮の事故 93人(4.0%) | 胎児及び新生児の出血性障害等 81人(3.5%) |
| 1～4歳 | 先天奇形、変形及び染色体異常 180人(20.5%) | 不慮の事故 123人(14.0%) | 悪性新生物 101人(11.5%) | 心疾患 58人(6.6%) | 肺炎 49人(5.6%) |
| 5～9歳 | 不慮の事故 103人(20.7%) | 悪性新生物 84人(16.9%) | 先天奇形、変形及び染色体異常 35人(7.0%) | その他の新生物 32人(6.4%) | 肺炎 28人(5.6%) |

*数字は死亡数と年齢別死亡数を100とした場合の割合(%)を示す
(厚生労働省 平成24年人口動態統計)

第1位)、毎年300人近くの10歳未満の子どもたちがこの種の事故で死亡しています。子どもの全死亡数のおよそ1/3は不慮の事故によると推定されます。子どもの命の大敵は病気ではなく、不慮の事故と言えます。

不慮の事故による三大死因は 窒息、交通事故および溺死・溺水

1歳未満の乳児では窒息が8割以上を占めています。1歳以上になると交通事故と溺死・溺水が増加してきます(表2)。窒息、交通事故、溺死・溺水が全事故死亡の約9割を占めています。

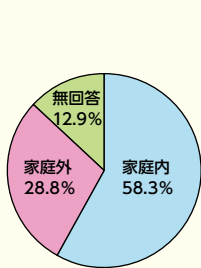
不慮の事故による子どもの年齢・原因別の死亡数

| | 0歳 | 1～4歳 | 5～9歳 |
|-----------|----|------|------|
| 総数 | 93 | 123 | 103 |
| 交通事故 | 1 | 47 | 43 |
| 転落や転倒 | 2 | 10 | 4 |
| 不慮の溺死・溺水 | 7 | 32 | 30 |
| 不慮の窒息 | 77 | 23 | 8 |
| 煙・火・火災の暴露 | - | 8 | 13 |
| その他 | 6 | 3 | 5 |

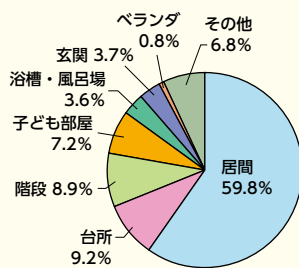
(厚生労働省 平成24年人口動態統計)

子どもの不慮の事故は家庭内で起こりやすい。

【事故発生場所】

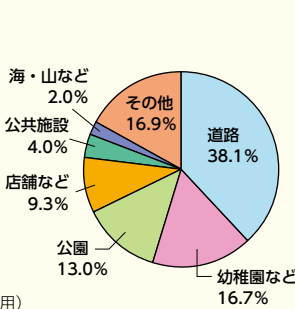


【家庭内事故】



(京あんしん子ども館ホームページから引用)

【家庭外事故】



子どもの事故は家庭の居間、台所、階段で起りやすいことが特徴の一つです。いちばん安全な場所と考えられがちな家庭内が子どもにとっては戸外と同じくらい危険な場所であることを再認識する必要があります。

周囲のちょっとした気配りが子どもの不慮の事故を防ぎます。

周囲のおとなのちょっとした注意や気配りで、子どもの不慮の事故の1/2～2/3は未然に防ぐことができると言われています。「ちょっと目を離れたすきに…」「危ないといつも気をつけていたのに…」「動けないはずなのに…」とならないように日頃から子どもの事故の防止に努めましょう。

子どもの事故を防ぐためのポイント

- ・ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザイン性より安全性を重視しましょう。
- ・部屋の中は安全を考えて整理整頓しましょう。
- ・あかちゃんの敷布団は固めのものを準備しましょう。
- ・ベビーベッドの柵とマットレスの間に隙間がないようにしましょう。
- ・チャイルドシートを準備しましょう。
- ・あかちゃんを家に一人おいて外出しないようにしましょう。
- ・車の中に短時間でもあかちゃんを一人で乗せておかないようにしましょう。
- ・子どもの応急手当の方法を知り、かかりつけ医や緊急時連絡先がわかるようにしておきましょう。

- ・あかちゃんを抱いて歩くとき、自分の足元に注意しましょう。とくに階段を下るときはあわてないようにしましょう。
- ・ドアを開めるときあかちゃんや子どもの手の位置を確認しましょう。
- ・寝ているあかちゃんの上に物が落ちてこないようにしましょう。
- ・あかちゃんに暖房から出る熱や風が直接ふれないようにしましょう。
- ・母乳やミルクを飲ませた後ほつぷをさせてから寝かせましょう。
- ・テーブルなど家具のとがった角は、コーナークッションなどでガードしましょう。
- ・あかちゃんのまわりにはタバコや小物を置かないようにしましょう。
- ・風呂の水は抜き、風呂場にはカギをかけましょう。
- ・入浴中のあかちゃんからは目を離さないようにしましょう。

(子どもに安全プレゼント事故防止支援サイトから引用改編)